

CLUB NEWS

2017-2018年度国際ロータリーテーマ／ロータリー:変化をもたらす

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「山形中央ロータリークラブのこれまでの伝統文化を尊重して、地域の若者とともに、ちよっと社会奉仕」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- | | | |
|------------------|---------------|-----------------------------------|
| ■ 会長 奥山 宏 | ■ 職業奉仕 齋藤 真 | ■ 副幹事 本間雅之 |
| ■ 会長エレクト 中川 清美 | ■ 社会奉仕 朝倉 克尚 | ■ 会計 本間雅之 |
| ■ 副会長 伊藤 和子 | ■ 青少年奉仕 阿部 美春 | ■ S A A 今野久仁正 |
| ■ 直前会長 小泉 俊哉 | ■ 国際奉仕 新沼 悟 | 国際ロータリー会長 イアン・H.S. アイスリー(オーストラリア) |
| ■ クラブ管理運営 玉ノ井 憲史 | ■ 幹事 石山 徳昭 | 第2800地区ガバナー 鈴木 一作(寒河江) |
| | | 第5ブロックガバナー補佐 須藤 吉実(山形イオン) |



ロータリー
変化をもたらす

◆日時／2017.10.3.12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形

会長挨拶



皆さん、こんにちは。おぼろ月夜会員の奥山です。本日より、リアップ使用して、来年にはこの会より退会したいと考えております。

本日にゲストは、米山留学生の、李 哉 さんと、カウンセラーの南口タリークラブの谷口さんです。

李さんは、韓国からの留学生で、東北芸術大学で学ばれています。韓国と日本、ぎすぎすした関係のように思えます。前の叔母様達が夢中になった韓流ブームとは、違った空気を感じます。私も、未来志向でなく、過去の事

を、穿り返して反日行動をとる韓国国民に嫌気がさしています。反日教育をするほど日本人は悪いのでしょうか？我々は、人の嫌がる事をしてはいけなないと、教わりました。韓国の教えはまるで逆ではありませんか、小さい時から日本人は悪と教えられたのでは、日本の若者が悲しすぎます。謝罪から始めなければならない国際交流など、若者には必要ありません。

反日教育で育った李さんには、日本はどの様に映るのでしょうか。山形の自然、文化、人々をどのように感じたのでしょうか。そんな思いで、今日の卓話を楽しみにしております。

ニコニコ情報

板垣喜代志／最近メトロ会場での例会が少なく、中々ニコニコが出来なく、こまっています。☆草野球の応援ありがとうございました。
奥山 宏・本間雅之／李(イ)さんの卓話に感謝します。山形での留学生生活を楽しんで下さい。谷口カウンセラー様ありがとうございました。

谷口カウンセラー



10月 会員誕生・創立企業日

誕生日 相川博昭

企業創立記念日

大島康志 三井住友海上火災保険(株)
鹿間慶彦 (株)モーターレンヤマガタ
朝倉克尚 朝日ビル(株)

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	23名	—
修正出席	40名	30名	28名	93.33%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形西) 横川恵三 (山形北) 佐藤 太 本間雅之 横川恵三			



ゲスト卓話 争いと共存の視点からみる日本

東北芸術工科大学 文化財保存修復学科 東洋絵画修復専攻3年
山形南ロータリークラブ所属 米山奨学生 **李 哉炆**氏

私は韓国人留学生として山形に来てもう3年目になりました。その間日本と日本人に対して色々なことを考えながら勉強を続けています。日本へ来る前に、韓国で学芸員としてインターンをしていた時、博物館・美術館には学芸員以外に様々な分野の仕事があることを知りました。その中でも、大切な文化財を保存・保護するのに貢献したいという気持ちから文化財保存修復を勉強したいと思いました。特に、日本の文化財に対する職人の精神に感動し、絶対に日本で勉強をしたいと思い日本語を猛勉強し、山形の芸術工科大学に入学しました。

しかし、合格後でも私が日本に留学することに対して韓国の身近な人々から反対と心配をされました。それは、韓国と日本は遠い昔から様々な歴史的な背景を持っているため、今でも韓国の大人は日本に対して良い認識を持っていないからです。これは、日本のメディアを通して見ても韓国と日本の歴史問題、慰安婦問題など韓国と日本はそれほど良い関係ではないと感じました。

しかし、私は歴史で一番重要なことは、自分の認識だけが歴史の全てではないと思うことであると考えています。相互関係である歴史をお互いに尊重し、より客観的に見る目線を持つことが大事だと思います。その様な思いを持ち、私は日本で文化財保存修復の勉強をしています。文化財は各国に所有されていますが、特定の人や国の文化財や遺産ではないと思います。全世界共有の文化財として後世に伝えなければならない貴重な歴史だと思います。これは、日本人・韓国人といった区別なく、同じ人間として争いや戦争することなく共存と協力を通じて守るべきものであると思います。

最近日本では、国家安保法を修正するなど韓国でも注視されています。もちろん、日本人の間でも安保法に対して良くない認識を持ち、心配している人もいます。けれども、学校で友達に聞いてみたところ、何も考えずに、過ごしている友達が多いことに気づき、驚きました。

このように考えていた中、昨年9月に行われた学校祭でさらに驚いた出来事がありました。サバイバルゲームというサークルの学生が軍人の服をきて銃を持ってゲームをしていたのです。皆さんも、単にゲームであると考えることができるかもしれま

せん。実際にそのサークルに所属している学生に、なぜこのようなゲームを国家安保法が修正された時に、子供から様々な年齢層が来る学校祭でしたのかと尋ねました。彼らはその銃とゲームは、単にかっこいいものとして認識し、行っているとのことでした。が、軍隊経験のある私にとっては、非常にショックな話でした。日本の安保法が改正されることで国の内外が大きく揺れている中、このような考えを持っている友達が意外に多いというのが事実でした。また、日本にいる間、戦争漫画やゲームがたくさんあるのを見ても、日本の若者にとっては、戦争は身近なものではないということを感じました。それと同様に、安保法も身近なものではないと考えているのかもしれない。世界の出来事について、様々な視点を持ち、考えていくことも学校の勉強と同様に大切なのではないかと思います。

私は、韓国で2012年から2年間海兵隊に兵役へ行きました。当時、高校を卒業したばかりの自分にとっては、軍は何も分からない世界でした。国のために戦うのが正義であり、銃を持って敵を殺すのが正義であると教えられ、毎日大変な訓練を受けました。北朝鮮がミサイルを撃つという情報があればいつでもすぐ戦えるように準備をして銃を持って寝ました。私はこのような経験を通じて日本で自分がする仕事が世界的な平和に寄与できるように努力したいと強く思いました。

私たちはみんな、同じ人間として平和な生活を維持したいと思っています。最近、中東の方で様々な戦争が起こり、それに対して文化財を破壊するなど文化財を単なるものとして認識し破壊する行為が見られます。私は、文化財が世界平和の象徴的なシンボルと言っても過言ではないと思います。私は単に保存科学の技術力を学ぶために、日本に来たわけではありません。日本の優れた保存処理技術だけでなく、日本の職人の技や文化財に対する考え方や態度、環境まで学ぶために来ました。将来は、文化財を取り巻く様々な問題を解決すると共に、その知識や経験を社会に国家に世界に還元できるような人材になりたいです。また、自分が学んでいる文化財保存修復がどのように、世界的な平和を守ることに寄与するかについて考え、貢献していきたいです。

近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼デパート 中山 ひまわり館 天童西 ホテル王将 山形イブニング パレスグランデール	山形南 ホテルキャッスル 山辺 料亭さつき 寒河江さくらぼ ホテルシンフォニー	山形 山形グランドホテル 上山 月岡ホテル 天童東 天童ホテル	山形北 山形グランドホテル 寒河江 グランデール寒河江	山形東 ホテルキャッスル 天童 滝の湯
※欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。				

CLUB NEWS

2017-2018年度国際ロータリーテーマ／ロータリー:変化をもたらす

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「山形中央ロータリークラブのこれまでの伝統文化を尊重して、地域の若者とともに、ちよっと社会奉仕」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- | | | |
|------------------|---------------|--------------------------------|
| ■ 会長 奥山 宏 | ■ 職業奉仕 齋藤 真 | ■ 副幹事 本間 雅之 |
| ■ 会長エレクト 中川 清美 | ■ 社会奉仕 朝倉 克尚 | ■ 会計 本間 雅之 |
| ■ 副会長 伊藤 和子 | ■ 青少年奉仕 阿部 美春 | ■ S A A 今野 久仁正 |
| ■ 直前会長 小泉 俊哉 | ■ 国際奉仕 新沼 悟 | ■ 国際ロータリー会長 イアン・H・ライズ(オーストラリア) |
| ■ クラブ管理運営 玉ノ井 憲史 | ■ 幹事 石山 徳昭 | ■ 第2800地区ガバナー 鈴木 一作(寒河江) |
| | | ■ 第5ブロックガバナー補佐 須藤 吉実(山形イオン) |



ロータリー
変化をもたらす

◆日時／2017.10.14.9:00 ◆例会場／山形市野草園

会長挨拶



おはようございます。今日は、10月の第二土曜日で、町中でいろんなイベントを行っているようです。忙しい中、皆さんにお集まりいただき有難うございます。山形市役所の関係の方々、山形市野草園の方々、山形明正高等学校の先生、生徒の皆さんのご協力えて、今日の里山環境整備プロジェクトを行えることを感謝いたします。自然と人間会の中

間にあります里山、今その大切さ見直されています。今日は、その大切さを学び、十月桜を植樹したいと思います。

この事業は、RI会長の提案であり、2800地区の補助事業でもあります。また、この事業には多くの企業の協賛をいただいております。(株)今野庭園様、(株)丹野様、(有)美・中川工務店様、(株)山形企業様、本当に有難う御座います。

3年後、5年後、美しい桜が花を咲かせ、市民の安らぎの一つになってくださることを期待します。

里山環境整備プロジェクト



本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	15名	—
修正出席	40名	31名	30名	96.77%
他クラブでメイクアップされた会員				





里山環境の重要性と 山形市野草園の役割

山形県立博物館専門嘱託
志鎌 節郎

以前は里山という言葉は有りませんでした。その時代は普通に炭焼きがなされ、毎日山に誰かが入っていたのです。「爺さんは山に柴刈りに、婆さんは川に洗濯に。」というのは桃太郎だけの話ではなく、私の子供のころまで良く見られた光景でした。それだけ山の木を大切に、下刈り、枝打ち、炭焼き、秋になると萱場に萱刈にと、常に山に入っていました。その時代は里山などと断る必要性は無く、普通に入会地や個人の持山は手入れがなされていました。燃料が炭や薪からガスに変わった頃から山に入る人がどんどん減り始めました。金にならない山に入るよりも、街に出て働いたほうが楽に金が入ることを知ったためです。こうやって誰も山に入らなくなりました。

その頃になって、政府では山の荒れている事に気付き、里山という言葉を使い、保護するために、各県に里山地区を指定するように、という通達をしました。それは、高い山（原生林の有る人手の入っていない山）につながり、里との中間にあるところと言うものだったと記憶しています。その後この指定に関係なく、高い山につながり、以前から常に人の手の入っていて自然の残る地域を里山、高い山につながらず、常に人の手が入り人に利用されていた自然の残る場所を里地と言い、里地里山という言い方を作り、当てはまるすべての場所を言うようになってきました。

こうして考え、この辺に当てはめると千歳山から西蔵王（西蔵王放牧場）までの地区が里山になると考えられます。

里山で一番大事なことは、常に人の手の入る事です。何故かというと、木の切り開かれた場所は太陽が良く当たるし、萱場もよく日の当たる場所です。そう言う所でないと育てない植物も沢山あり、その植物を頼りに生きている昆虫、その昆虫を頼っている鳥類、ほ乳類、爬虫類、両生類と、種の多様性が進んでいきます。それを自然と言っていますが、自然は最近の言葉で、以前は天然と言っていました。同じ様ですが、かなり違うと考えることが出来ると思います。

自然林という言葉の場合は里山も含めた林や森を指しますが、天然林といった場合は人の手の加わっていない森を表していました。最近では原生林という言葉を使っていますが、私的には天然林の方が耳触りよく聞こえます。皆さんは如何でしょうか。

ところで、いろんな生物の種の多いことを種の多様性と言います。種の多様

性は天然林と里山でどちらの方が高いのでしょうか。天然林の方が多様性は高いように考えそうですが、実は人の手の行き届いた里山の方が多様性は高いのです。人間の手を加える事により増してくる訳は人間がいろんな環境を作る事によると考えられます。萱場や杉林、薪炭林、牧草地等を作ります。その事により、多様な環境が生まれます。それが多様性の上がる仕組みです。これまでの日本は世界に類のない多様性の宝庫でした。それが山林を放置した結果、多様性に赤信号が点ったわけです。レッドデータブックで取り上げられている絶滅危惧種のほとんどが里地里山の植物です。

ところで、山形市野草園は山形市制 100 周年記念事業として、ここ山形市神尾清水沢に作られました。メインになるミズバショウとザゼンソウの群生地は地元青年団が木道を作り西蔵王観光の一環として市民に提供していたものです。このミズバショウとザゼンソウは混生することは少なく全国的にも珍しいものです。ここに野草園を作ったことは周辺の里山も含めて「里地里山の保護」に大きな影響を与えています。ここ野草園では豊富な昆虫の種類と数が見られそれを餌とする鳥類も豊富にみる事ができます。毎年秋になるとフジバカマに群がる旅をする蝶のアサギマダラも園のすぐ外の出立への登山道でカモメツルの葉を食べている幼虫を確認しているし、背丈の大きいセリの仲間のエソノヨロイグサにはキアゲハの幼虫がよく見られます。ヒョウモンチョウの仲間の種の豊富さも素晴らしいものがあります。甲虫類ではミヤマクワガタやマークオサムシ、カミキリ類やカナブンも多種多様です。沼のおかげでトンボ類の数も多く豊富です。それらを餌とする鳥類としてオオルリやサンコウチョウが見られ、大平沼には外来種のブラックバスやブルーギル等は入っていない以前からのコイやモツゴ、フナ、スジエビの仲間やテナガエビの仲間が豊富でその魚類を食べるカワセミやアオサギ、ネズミ等、小型哺乳類を餌とする猛禽類のノスリも良く見られます。野草園が作られたことにより、小さいながら里山見本林的な物が出来て、安全に体験することが出来るようになっていきます。野草園には自然学習センターという建物が有り常に園内を巡視しそういう自然を熟知した先生方が常駐しています。実は山形市野草園の開設当時から理念は自然と共生しながら、里山を学習することが大きな目的なのです。

最近ではこれまで山形県内で絶滅したと考えられていたニホンジカとイノシシが入ってきています。特にイノシシに関しては野草園の周りに沢山増えて近くの田畑はかなりの被害が見られるようになっていきますし、ニホンザルの情報も入るようになってきました。哺乳動物は結構学習をします。これからはこれらの新顔の動物の事も考えながら、里地里山の保全を考えていかなければならない時期に入っています。これからは無関心になることなく、皆さんとよく考えていきたいと思います。

